

久慈・二戸地区平和集会開催

《久慈地区平和集会》

日時 7月27日（火）18：00～

会場 久慈市中央公民館

参加数 36名

《二戸地区平和集会》

日時 7月28日（水）18：30～

会場 二戸市シビックセンター

参加数 48名

新型コロナウイルス感染防止により今年度も参加人数を削減し、平和集会を開催しました。また、平和行進も感染防止のため実施せず、平和を願い核兵器の脅威を改めて感じていただくために久慈地区では「美ら海沖縄 摩文仁からのメッセージ」二戸地区では「ナガサキの記憶」を上映しました。原爆が投下されてから76年の歳月が経過し、体験された方々が少なくなっています。改めて当時の映像を見て、私たちがこのことを風化させることなく、地域から次の世代を担う方々に引き継いでいく重要性を感じた集会となりました。

久慈地域ではご来賓の岩手県議会議員の岩城元様、久慈市議会議員の豊巻直子様、立憲フォーラム久慈代表の梶谷武由様から挨拶をいただきました。久慈市長の遠藤譲一様からはメッセージをいただきました。久慈地区では県の平和運動実行委員会の藤下政宏さん、二戸地区では猪股秀行さんから平和キャラバンの取り組みについて報告をいただきました。

1945年8月6日の広島、8月9日の長崎に原子爆弾が投下され多くの尊い命が奪われ、今もなお放射線障害に苦しんでいる人がいます。私たちはこの脅威から解放されていません。非人道的である核兵器の3度目の使用を許すことなく、日本政府に対して核兵器廃絶に向けた実効ある取り組みを強く求めます。

国内外での強く広い運動により、核兵器廃絶に向けた決意を改めて強固なものとし、唯一の被爆国であるこの国に暮らす私たちは核兵器廃絶と世界の恒久平和の実現を目指していくことを誓い、平和アピールに賛同しました。

二戸地区ではご来賓の二戸地区原水爆禁止協議会代表の鈴木忠幸様から挨拶をいただきました。二戸市長の藤原淳様、一戸町長の田中辰也様、岩手県議会議員の五日市王様からはメッセージをいただきました。

会場入り口では高校生1万人署名活動に取り組んでいる高校生2名が署名活動を実施しました。声を出しての活動を自粛し、みんなの声を文字にして訴えたプラカードをステージの下段に掲示し、参加者に署名協力をお願いしました。

平和運動実行委員長
遠藤 哲哉（久慈地区）



久慈市議会議員
豊巻 直子様

岩手県議会議員
岩城 元様



立憲フォーラム久慈
代表 梶谷 武由様



久慈地区でアピールを
提案する四役実行委員



閉会で平和への思いを
語る柳清水剛実行委員

平和運動実行委員長
中田 茂（二戸地区）

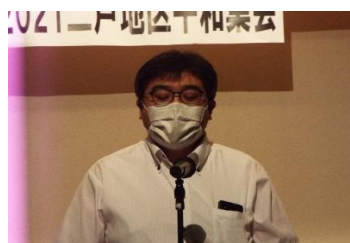
二戸地区原水爆禁止協議会
代表 鈴木 忠幸様



岩手県平和運動実行委員
藤下 政宏さん



岩手県平和運動実行委員
猪股 秀行さん



早々に準備を済ませ、1万人署名を目指し参加者に協力をお願いしました。

平和を願いみんなが作ったプラカードをたくさん掲示しました。

集会アピールを提案する青年委員長の川崎佳久さん



第24代高校生平和大使 盛岡第一高等学校2年生 稲森のど薫さん

私たち高校生1万人署名活動実行委員会ではコロナウイルス感染拡大の影響活動を制限され思うような活動が行えない状況で昨年度は県内各高校への署名活動の呼びかけや本県出身の国会議員に手紙を送るなど、多くの人々に私たちの存在を知ってもらおうと様々な工夫を行いました。コロナ禍に見舞われている今だからこそその日常の大切さを痛感し、日常生活や平和への尊さを強く訴えることだけが出来ると考えました。私たちの活動は多くの方々のおかげにより成り立っていますので、これまでの多くの協力に感謝しながら、これからの活動にもご協力をお願いします。



高校生1万人署名活動に取り組んでいる福岡高校3年生 阿部佑月さん

高校1年生の時に「高校生長崎平和の旅」に参加し長崎の地を訪れ、実際に被爆者の話を聴くうちに核兵器は多くの命を奪い、生きながらえた人々には重い後遺症、遺族には深い心の傷を残す恐ろしい兵器だということがわかりました。私の進路は心のケアが出来る心理カウンセラーになり、少しでも傷ついた人の心を救いたいと思っています。「微力だけど無力ではない」の言葉の通り、少しでも世界平和へ貢献していきたいと思っておりますので、ここにいる皆様が個々に核兵器廃絶の輪を広げていただくことで平和への意識が一層深まると思っておりますのでどうかお力をお貸しください。

普代村の梶屋伸夫村長（左）

野田村の小田祐土村長（左）



写真左より久慈市議会の豊巻直子市議、平和環境久慈地区センターの遠藤哲哉議長、連合岩手県北地域協議会の坂本敏美事務局長、久慈市の遠藤譲一市長、久慈地区友愛会の柳清水隆幸会長

《平和の取り組みに対する要請行動》

7月8日 野田村・普代村・洋野町
7月15日 久慈市

連合岩手県北地域協議会・平和環境久慈地区センター・久慈地区友愛会の労働3団体は世界の恒久平和と日本国憲法に沿った平和な社会の実現、核兵器の廃絶などを目指し、原爆投下時刻、終戦の日の黙とう・サイレン吹鳴・鐘付きなどを実施することと、地域の方々へ広報などで参加呼びかけを行うとともに、恒久平和・核兵器廃絶に向けた啓発事業への取り組みを要請しました。

洋野町の水上信宏町長（右）

